



令和2年12月1日 第8号  
児童数792名 TEL048-991-2238

学校教育目標  
・よく遊ぶ子・よく学ぶ子・助け合う子

## 子供の姿から学ぶ ~やり抜く力~

校長 加納 敏幸

保護者の皆さまの小学校時代には、校内持久走大会は行われていたでしょうか。また、持久走という競技についてどのような思い出が残っているのでしょうか。

私の記憶では、小学校では持久走大会はなく、中学校で行われたと頭に残っています。そして、本当に嫌で苦手な行事でした。その理由は2つ。1つ目は、長距離が得意ではないこと。2つ目は、走るコースが嫌だったことです。運動が苦手ではなかったのですが、とにかく、私は、長く走る持久力、粘り強さが不足している子供でした。さらに、私の中学校の持久走大会は、学校近くの上野公園内にある不忍池を周回するコースで行われます。ご存知のとおり、このあたりは観光客や多くの人が行き交う場所です。その中、いつも中盤に位置する私は、多くの人の視線を気にしてしまい、走るのが嫌に感じていました。そんな思い出が持久走大会にはありました。

本校では、校内持久走大会を毎年実施しています。今年度、感染症対策として、当初は、保護者の皆さまの参観をご遠慮いただき実施する計画でしたが、計画を見直し、感染症防止策を講じ、保護者の皆さまに参観していただきました。ふり返ると、保護者の方々に学校にお迎えした初めての校内行事でした。大会当日の天候により、予備日実施となり、保護者の皆さまにはご迷惑をおかけしました。そんな中、多くの皆さまにご来校いただいたこと、ありがたく思いました。声を出しての声援もできず、ボードを用意し応援いただいた保護者の方もいらっしゃいました。お子様への深い愛情を感じました。重ねて感謝申し上げます。

お子様の様子はいかがだったでしょうか。持久走大会の目的は、端的に言うと、持久走の取り組みをおとし、最後まであきらめず、粘り強くやり抜く気力を育むことにあります。つまり、やり抜く力。

各学年の競技を見ていると、走るのが得意な子供もいれば、私と同じように、ちょっと嫌だなと思う子供もいたはず。そんな中、参加した子供達は本当に頑張りました。学年が上がるにつれて、走る距離も長くなり、同時に、ゴールするまでの時間も大きくなります。最初は、みんなで走っていましたが、少しずつその集団の数は減り、ひとりでゴールを目指します。そんな時の気持ちはどうでしょうか。「もうやめたい」「歩いちゃおうかな」そんな弱気な自分の声も聞こえてきた筈です。周りの大人も、「無理しないで」「もういいよ」と止めに入りたくなる気持ちになる時もあります。しかし、どの子も走ることをやめません。一步一步、前に前に進みます。そんな、子供達の頑張る姿から教えられます。「先生、私はあきらめないよ」「私は最後までできるから見ていてね」。

今年度本校では、着順による入賞児童への賞状、完走したすべての児童への完走賞に加え、試走よりも5秒以上タイムを縮めた児童を讃える努力賞を新設しました。持久走大会の目的をすべての児童が達成するためには、まだまだ改善が必要です。しかし、これからを生きる子供達の前にあるものは、自分の得意なことや楽しいことばかりではありません。持久走大会のように、苦手なこと、嫌なこともあるでしょう。その時どうするか。それは、その時に、やり抜いた者こそその経験が、生きてくるのではないのでしょうか。やり抜く力のような非認知能力は、学力向上に関係があるとされています。学力向上は確かに大きな課題です。しかし、やり抜く力は、学力のためではなく、社会の変化とともに逞しく生きていくために不可欠な資質能力とも言えるのではないのでしょうか。

12月に入り、朝夕と日中との温度差も大きくなりました。いよいよ季節は冬を迎えます。初めて新型コロナウイルスとともに迎える冬。学校においても、不安や心配は尽きません。これまで同様、基本的な感染症対策に取り組み、安心・安全な学校づくりを推進してまいります。

## 12月の生活目標

物を大切にしましょう

□ 毎月一日は、「SNS 振り返りの日」としてメールを配信いたします。“松伏小 SNS 6箇条”とともに、ぜひ、お子さんとの話題にしてください。

## 持久走大会が開催されました

1日延期となった持久走大会が、26日に開催されました。休み時間の練習はもちろん、「家でも走っているよ。」という声も……。たくさんの応援をありがとうございました。



全力でダッシュの低学年。800Mを頑張っていました。



力強さのある高学年の走り。最も長い距離ですが全力を出し切りました。

霧の中のレースとなった中学年。コースが見にくい中でしたが、力いっぱい走り切りました。



## 大成功! 5年生校外体験学習 & 絆プロジェクト



十一日には五年生が成田のめ牧場にて校外体験学習を、二十一日には、松伏小学校の校庭で「絆プロジェクト」を実施。五年生の結束がさらに高まりました。



## 歴史にふれた 6年生日帰り修学旅行



六日には、六年生が鎌倉・江の島方面に日帰り修学旅行に行きました。「コロナ対策をしながらも、貴重な思い出づくりができました。六年間の学びを生かした行動がとれました。」

○ この度松伏小学校に、酒井明美先生、関秀二先生、小玉憲彦先生の3名が着任されました。酒井先生は主に4、5、6年生の書写の指導を、関先生、小玉先生は職員室の仕事をお手伝いくださいます。どうぞよろしくお願いいたします。

○ 12月16日(水)は、スクールカウンセラーの仲田光先生が来校されます。相談のご希望がある方は、各担任までお申し出ください。場合によっては面談時間等を調整させていただきますが、ご了承ください。

○ 別紙にて、「令和2年度の冬を元気に過ごすために」を配布いたしました。学校における感染防止策及び寒さ対策について御理解・御協力のほどよろしくお願いいたします。